

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年2月10日
【四半期会計期間】	第37期第3四半期（自平成28年10月1日至平成28年12月31日）
【会社名】	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
【英訳名】	SQUARE ENIX HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松田 洋祐
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【電話番号】	03 (5292) 8100
【事務連絡者氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【電話番号】	03 (5292) 8100
【事務連絡者氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第36期 第3四半期連結 累計期間	第37期 第3四半期連結 累計期間	第36期
会計期間		自 平成27年 4月1日 至 平成27年 12月31日	自 平成28年 4月1日 至 平成28年 12月31日	自 平成27年 4月1日 至 平成28年 3月31日
売上高	(百万円)	152,760	190,084	214,101
経常利益	(百万円)	24,198	22,050	25,322
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	(百万円)	13,538	17,055	19,884
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	12,547	15,879	16,951
純資産額	(百万円)	164,352	179,005	168,783
総資産額	(百万円)	225,051	243,287	232,731
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	111.01	139.76	163.04
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額	(円)	110.79	139.51	162.72
自己資本比率	(%)	72.7	73.2	72.2

回次		第36期 第3四半期連結 会計期間	第37期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成27年 10月1日 至 平成27年 12月31日	自 平成28年 10月1日 至 平成28年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	50.95	94.71

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、SQUARE ENIX OF EUROPE HOLDINGS LTD.は、平成28年4月26日に清算終了したため、第1四半期連結会計期間より連結子会社から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライツ・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は190,084百万円(前年同期比24.4%増)、営業利益は21,477百万円(前年同期比9.7%減)、経常利益は22,050百万円(前年同期比8.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,055百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当第3四半期連結累計期間は、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいては、大型新作「ファイナルファンタジーXV」、PlayStation®4版「RISE OF THE TOMB RAIDER」などを発売したほか、過去に発売したタイトルのダウンロードを中心としたリピート販売も好調だったため、売上高・営業利益とも前年同期よりも大幅に増加しました。

多人数参加型オンラインロールプレイングゲームにおいては、前年同期に拡張版ディスクの発売があったことから、当第3四半期連結累計期間の売上高・営業利益とも前年同期比で大幅に減少しておりますが、課金収入は安定的に推移しております。

スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」、「星のドラゴンクエスト」、「ドラゴンクエストモンスターズ スーパーライト」等の大型タイトルを中心としたネイティブアプリが高水準で推移し、売上高・営業利益とも前年同期よりも増加しました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は146,215百万円(前年同期比32.7%増)となり、営業利益は21,793百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、店舗運営が堅調に推移し、また「ガンズリンガー ストラトス3」、「シアトリズム ファイナルファンタジー オールスターカーニバル」、「ラブライブ! スクールアイドル フェスティバル ~ after school ACTIVITY ~」などのアミューズメント機器の発売がありました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は33,044百万円(前年同期比4.1%増)となり、営業利益は3,666百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

出版事業

コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等の出版、許諾等を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、前年同期と比較してゲームガイド、電子書籍のライセンス収入が増加したものの、コミック単行本の売上が減少しました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,257百万円(前年同期比5.4%減)となり、営業利益は1,723百万円(前年同期比9.9%減)となりました。

ライツ・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第3四半期連結累計期間は、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化等が堅調に推移しました。

当事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は4,727百万円(前年同期比30.1%増)となり、営業利益は1,565百万円(前年同期比31.3%増)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、791百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	440,000,000
計	440,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	122,366,996	122,373,396	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100 株であります。
計	122,366,996	122,373,396	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成29年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権(ストックオプション)の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成28年10月1日～ 平成28年12月31日	-	122,366,996	-	23,822	-	53,057

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成28年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 316,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 121,547,200	1,215,472	-
単元未満株式	普通株式 503,796	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	122,366,996	-	-
総株主の議決権	-	1,215,472	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,100株(議決権の数11個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式28株が含まれております。

【自己株式等】

平成28年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス	東京都新宿区新宿 六丁目27番30号	316,000	-	316,000	0.25
計	-	316,000	-	316,000	0.25

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が100株(議決権の数1個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,306	111,761
受取手形及び売掛金	21,487	39,399
商品及び製品	2,428	4,171
仕掛品	109	16
原材料及び貯蔵品	233	234
コンテンツ制作勘定	41,419	37,605
その他	11,837	14,382
貸倒引当金	143	203
流動資産合計	194,679	207,367
固定資産		
有形固定資産	13,748	14,183
無形固定資産	6,447	5,580
投資その他の資産	17,856	16,155
固定資産合計	38,052	35,919
資産合計	232,731	243,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,671	14,355
短期借入金	9,722	8,619
未払法人税等	5,726	2,355
賞与引当金	2,672	1,600
返品調整引当金	3,334	6,961
店舗閉鎖損失引当金	75	69
資産除去債務	5	-
その他	19,529	22,846
流動負債合計	55,737	56,808
固定負債		
役員退職慰労引当金	162	88
店舗閉鎖損失引当金	127	94
退職給付に係る負債	2,747	2,751
資産除去債務	2,355	2,454
その他	2,819	2,084
固定負債合計	8,210	7,472
負債合計	63,948	64,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,753	23,822
資本剰余金	52,993	53,062
利益剰余金	95,581	106,780
自己株式	888	895
株主資本合計	171,439	182,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341	389
為替換算調整勘定	3,207	4,534
退職給付に係る調整累計額	607	470
その他の包括利益累計額合計	3,474	4,615
新株予約権	374	442
非支配株主持分	443	409
純資産合計	168,783	179,005
負債純資産合計	232,731	243,287

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	152,760	190,084
売上原価	76,692	105,326
売上総利益	76,067	84,758
返品調整引当金戻入額	4,922	3,190
返品調整引当金繰入額	4,151	6,440
差引売上総利益	76,838	81,508
販売費及び一般管理費	53,060	60,030
営業利益	23,778	21,477
営業外収益		
受取利息	57	50
受取配当金	8	1
補助金収入	419	2
連結納税未払金免除益	-	62
為替差益	-	478
雑収入	155	65
営業外収益合計	641	661
営業外費用		
支払利息	47	41
支払手数料	11	5
移転関連費用	44	31
為替差損	117	-
雑損失	0	9
営業外費用合計	220	88
経常利益	24,198	22,050
特別利益		
固定資産売却益	11	4
投資有価証券売却益	0	-
新株予約権戻入益	19	20
特別利益合計	31	24
特別損失		
固定資産売却損	43	-
固定資産除却損	119	165
関係会社株式評価損	1,702	0
その他	51	13
特別損失合計	1,917	178
税金等調整前四半期純利益	22,313	21,896
法人税、住民税及び事業税	7,973	3,925
法人税等調整額	796	914
法人税等合計	8,769	4,839
四半期純利益	13,543	17,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,538	17,055

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	13,543	17,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	394	48
為替換算調整勘定	650	1,362
退職給付に係る調整額	48	136
その他の包括利益合計	996	1,176
四半期包括利益	12,547	15,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,562	15,913
非支配株主に係る四半期包括利益	15	34

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、SQUARE ENIX OF EUROPE HOLDINGS LTD.は、清算終了のため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
投資その他の資産	224百万円	222百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
減価償却費	4,489百万円	4,686百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月18日 取締役会	普通株式	2,438	20	平成27年3月31日	平成27年6月3日	利益剰余金
平成27年11月6日 取締役会	普通株式	1,219	10	平成27年9月30日	平成27年12月4日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月18日 取締役会	普通株式	4,635	38	平成28年3月31日	平成28年6月3日	利益剰余金
平成28年11月8日 取締役会	普通株式	1,220	10	平成28年9月30日	平成28年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエン タテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	110,145	31,755	7,623	3,236	152,760	-	152,760
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	49	396	445	445	-
計	110,145	31,755	7,672	3,633	153,206	445	152,760
セグメント利益	23,144	4,356	1,913	1,192	30,606	6,828	23,778

(注)1. セグメント利益の調整額 6,828百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費 6,860百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエン タテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	146,215	33,038	7,222	3,608	190,084	-	190,084
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	6	35	1,119	1,160	1,160	-
計	146,215	33,044	7,257	4,727	191,245	1,160	190,084
セグメント利益	21,793	3,666	1,723	1,565	28,749	7,271	21,477

(注)1. セグメント利益の調整額 7,271百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費 7,297百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	111円01銭	139円76銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	13,538	17,055
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	13,538	17,055
普通株式の期中平均株式数(千株)	121,955	122,034
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	110円79銭	139円51銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	245	220
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成28年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・1,220百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・10円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成28年12月5日

(注) 平成28年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年2月10日

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 田 憲 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金 野 広 義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスの平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス及び連結子会社の平成28年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。